# 第３回　地域密着型サービス　運営推進会議　報告書

事業所名：小規模ホーム　あんきな

ｻｰﾋﾞｽ種類：□グループホーム　・　■小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

□地域密着型通所介護　・　□認知症対応型通所介護

日　時：令和８年９月 16 日（水）　９：30～10：30

場　所：会議室

出席者：９名

| | | | |
|---|---|---|---|
| 駐在所巡査長 | 欠席 | 知見を有する者 | １人 |
| 利用者家族 | １人 | 大田市職員 | １人 |
| 地域住民の代表 | ２人 | 民生委員 | １人 |
| 事業所職員（職名：管理者、GH 主任、小規模主任） | | | ３人 |

1．報告事項

登録実績と利用状況（R8.8 月現在）

| 現在登録者数 | ７月 | ８月 | 新規 | ７月 | ８月 |
|---|---|---|---|---|---|
| 男性 | ３名 | ３名 | 登録者数 | ０名 | ０名 |
| 女性 | 15 名 | 14 名 | 登録 | ７月 | ８月 |
| 計 | 18 名 | 17 名 | 終了者数 | １名 | １名 |

令和８年度　サービス利用状況：定員 25 名（令和８年８月現在）

| | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 18 | 18 | 19 | 18 | 17 | | | | | | | | |
| 延人数 | 472 | 510 | 513 | 528 | 517 | | | | | | | | |
| 実稼働率 | 62.9% | 65.8 | 68.4 | 68.1 | 66.7 | | | | | | | | |
| 通い/人 | 243 | 261 | 269 | 288 | 275 | | | | | | | | |
| 泊り/人 | 81 | 112 | 131 | 128 | 128 | | | | | | | | |
| 訪問/回 | 258 | 256 | 254 | 349 | 382 | | | | | | | | |
| 支援１ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| 支援２ | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | | | | | | | | |
| 介護１ | 6 | 5 | 4 | 4 | 6 | | | | | | | | |
| 介護２ | 6 | 6 | 7 | 7 | 6 | | | | | | | | |
| 介護３ | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | | | | | | | | |
| 介護４ | 1 | 2 | 3 | 2 | 2 | | | | | | | | |
| 介護５ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |

地域別利用状況　（令和８年８月現在）

| 波根 | 久手 | 大田 | 仁摩 | 静間 | 五十猛 |
|---|---|---|---|---|---|
| ３人 | ８人 | ３人 | １人 | １人 | １人 |

利用者の世帯状況

| 独　居 | 配偶者（高齢）のみ | 子等と同居 |
|---|---|---|
| 8 人 | 3 人 | 6 人 |

2. 活動状況報告

①朝波小学校児童下校時の見守り活動今年度も継続

※夏休み期間中はなし。9 月から再開。

②　行事：7/28（火）、7/29（水）納涼祭を実施した様子を報告した。

③外部評価関連報告

A　事業所評価関連

【地域包括ケアを担う活動】

目標：行政やサービス機関との会議、波根地域の活動・イベント等に参加する機会を増やす

→7/18（土）キャンドルナイト（波根）への参加報告を行う

→7/31（金）大田市介護サービス事業者協議会参加報告を行う。

（目的）

大田市の住民がどこでも安心して暮らすことが出来るために、きめ細やかな質の高いサービスが提供できる体制をつくり介護サービスの充実を図る

（内容）

・介護サービス事業所のサービスの質向上のための全体研修
・人材確保への取り組み
・介護保険課に対して大田市広報へ全サービスについての紹介ページの掲載依頼
・身寄りのない方、親族が遠方で支援が期待できない方への支援についての協議
・施設利用者が入院した際の家族からの苦情対応など

【9.人権・プライバシー】

目標：人権を尊重した支援やプライバシーの配慮が環境整備を含めて意識を持って取り組む

（コンプライアンス順守や身体拘束廃止、虐待防止など基礎知識を備えるための取組）

・7/16（木）、7/23（木）「介護現場のコンプライアンスと理入りの重要性」研修
・7/29（水）、8/26（水）「ハラスメントのない職場作り」研修
・身体拘束・虐待に繋がる不適切なケアの実態についてのアンケート調査実施
・虐待を疑われる事案が生じた場合の対応について参加者へ説明を行った

Q：委員会の実施状況やメンバーの構成を教えてほしい。

A：3 カ月に 1 回の定例会議（構成メンバーは主任を主担当とし、各部署から職員配置）

身体拘束、虐待の事例発生時には臨時の開催（部長や課長も参加）

C　事業所と地域の関わり

目標：地域の行事や活動を通じて事業所との関係を深める。事業所の取り組みも知ってもらえるような情報発信を行い、困りごとなどの相談が増える。

→道路にはみ出した木の枝の対応について

・地域からの意見、相談などの状況を説明（社協のよろず相談へ相談した）

※まちセン長澤様より

・公共の道路であれば大田市の道路管理者で対応可能。

・まちセンも情報を持っているので協力できることがあるかもしれないので相談してもらうなど活用してほしい。

※自治会長より

・11 月の文化祭について

作品に興味を持った方がいれば作成者に事業所に来てもらって教えてもらう事も出来るのではないか

→団体の縮小や指導者減少の状態はあるが頼んでみてもよいかもしれない。

3. その他

大田市介護保険課（赤木様）より介護の入門研修の案内あり

※資料参照

次回開催日：令和 8 年 11 月 18 日（水）9：30～10：30